令和4年度 デジタル田園国家構想交付金事業に係る効果検証
 (子どもやおとなが夢や希望を語り心身ともに豊かに育つ地域共生のまちづくり事業)

(各交付金対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

⑬【達成度評価】欄(事業担当課記載)
 「R4年度のKPI値」⑪に対しての「R4年度実績」⑫の達成度評価を下記により記載
 ◎=指標値を達成
 ○=指標値の約7割以上達成
 △=指標値の約5割以上達成
 ▼=指標値を達成していない

⑭【総合評価】欄(事業担当課記載)
 A:計画を上回る取組みや事業展開ができた
 B:計画どおり実施できた
 C:一部計画どおり実施できなかった
 D:計画通り実施できなかった

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		⑰	
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	KPI (R2年度)	R2年度実績	KPI (R3年度)	R3年度実績	KPI (R4年度)	R4年度実績	達成度評価	R4までの総合評価	成果分析・今後の展望(事業担当課記載)	外部有識者	総合戦略のKPI達成に ・有効 ・有効でない	外部有識者(学識者)からの意見	外部委員からの意見を踏まえた今後の展開等市の考え方
1	子どもやおとなが夢や希望を語り心身ともに豊かに育つ地域共生のまちづくり推進事業	【P22~26:2-①-1】 ゆうてみいサポーターでつながる子どもの権利が大切にされる地域共生社会の実現事業 【P22~26:2-①-2】 SOS~相談体制の構築・強化 小さな拠点機能等整備事業 【P32:3-②-1】 防犯カメラ等設置促進事業 【P22~27:2-①-4】 農業体験事業/漁業体験事業	政策推進課	人口の社会増減における人口減少圧縮数	-	20 人	29 人	30 人	△64 人	40 人	△105 人	▼	C	前年度に引き続き20歳から29歳までの転出が進学・就職で314人と多くなっており、若者の定住に効果が表れていない状況となっている。地域共生社会の実現につながるこの事業の取り組みは、本市に暮らす住民の支え合いやつながりを再生するために有効な事業であると考え、若者の定着推進には、働きたいと思える企業誘致などの取組と合わせ、本市にまた戻って暮らしたいと思える環境づくりを引き続き進めることが重要と考える。	A委員	有効	各事業は目標も達成しており、有効に働いていると思われるが、結果として総合評価である人口減少の圧縮にはつながっていないように見えてしまう。各事業の内容や成果も含めて、他地域との比較がないと、他地域より住みたい街になっているのか判断することができない。	【政策推進課】 近隣市町でも20歳から29歳までの人口減少が続いているが、それ以外の年代の人口について若干増加している市もある。各市町それぞれ独自の施策を進める中、どの施策が定住に効果があったのか特定するのは難しいが、他市町の取組を参考にしながら、本市の魅力アップにつながる取組を検討していきたい。
			長寿社会推進課 家庭支援課 文化振興課(図書館)	小さな拠点機能等整備数	-	3 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所	1 箇所	1 箇所	◎	A	【家庭支援課】 家庭支援課で把握している市内の子ども食堂に呼びかけ、子ども食堂間の交流会を実施した。また、子ども食堂ネットワークを設置し、5団体の子ども食堂運営事業者が登録した。令和5年度も安定的な継続実施のため引き続き支援を実施する。 【長寿社会推進課】 令和4年度は福まちサポートリーダー10名を養成した。また、過去2年間で立ち上げた地域に対して市及び中間支援組織が連携して活動の支援を行った。本事業については、今後も継続して取り組みを行い、地域での見守りや支え合い等の「互助力」の向上や地域の「互助」を担う人材の発掘を図る。 【文化振興課(図書館)】 令和4年度はサポーターの方の提案で子どもたちが思っていることを自由に書ける「自由帳」を設置し書き込みもあった。令和5年度は相談業務の実施曜日にもサポーターの方と検討子どもたちにとって利用しやすいコーナーにしたい。				
			人権推進課	ゆうてみいサポーター養成講座受講者数	-	120 人	213 人	120 人	258 人	120 人	512 人	◎	A	令和4年度は、各校区人権推進協議会の総会を利用して研修を実施したので、多くの人に子どもの権利のことを伝えることができた。待っているだけでは、なかなか理解者を増やすことができないので、今後も計画的に実施していきたい。また、養成された人の効果的な活動を企画していきたい。				

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		⑰	
No	交付対象 事業名	総合戦略上 の関係事業名	担当課	重要業績 評価指標 (KPI)	基準値	KPI (R2年度)	R2年度 実績	KPI (R3年度)	R3年度 実績	KPI (R4年度)	R4年度 実績	達成度 評価	R4までの 総合評価	成果分析・今後の展望 (事業担当課記載)	外部 有識者	総合戦略の KPI達成に ・有効 ・有効でない	外部有識者(学識者) からの意見	外部委員からの意見を踏まえた 今後の展開等市の考え方
1			プロモーション戦略課 (産業観光課)	農業・漁業体験 者数	-	20 人	0 人	70 人	36 人	110 人	357 人	◎	A	【プロモーション戦略課】 泉南まるとフェスティバルへの出展や体験ツアー実施によるプロモーションのほか、市外小学校による校外学習の支援を通して、周知を図ることができた。今後もプログラムの充実に加え、引き続き専用サイトやSNS等を活用し、取り組みのPRに努めていく必要がある。	B委員	有効	市外小学生のみでなく、市内も対象にしても良いのではないかな。	【プロモーション戦略課】 引き続き、「体験」にこだわったプログラムを充実させ、市の魅力である農業漁業や自然環境のPRに努めていきたい。
			生活福祉課	防犯カメラ設置 台数	64 台	7 台	7 台	5 台	5 台	5 台	5 台	◎	A	【生活福祉課】 計画通り設置となった。				

令和4年度 デジタル田園国家構想交付金事業に係る効果検証
(国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業)

(各交付金対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

⑬【達成度評価】欄(事業担当課記載)
「R4年度のKPI値」⑩に対しての「R4年度実績」⑫の達成度評価を下記により記載
◎=指標値を達成
○=指標値の約7割以上達成
△=指標値の約5割以上達成
▼=指標値を達成していない

⑭【総合評価】欄(事業担当課記載)
A:計画を上回る取組みや事業展開ができた
B:計画どおり実施できた
C:一部計画どおり実施できなかった
D:計画通り実施できなかった

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		⑰	
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	KPI (R2年度)	R2年度実績	KPI (R3年度)	R3年度実績	KPI (R4年度)	R4年度実績	達成度評価	R4までの総合評価	成果分析・今後の展望(事業担当課記載)	外部有識者	総合戦略のKPI達成に ・有効 ・有効でない	外部有識者(学識者)からの意見	外部委員からの意見を踏まえた今後の展開等市の考え方
2	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業	【P34~36:4-①-2】 スポーツ施設等利用ポータルサイト構築事業 【P34~36:4-①-2】 スポーツコミッション設立事業 【P34~36:4-①-3】 「SENNAN CAMP」プランディング事業 【P34~36:4-①-3】 トップアスリート活用事業 【P34~36:4-①-3】 いきいき健康づくり事業 【P34~36:4-①-3】 こども夢事業	生涯学習課 政策推進課	スポーツ合宿宿泊者数	0人	1,700人	0人	2,000人	0人	2,500人	18,506人	◎	A	【生涯学習課】 R4の施設閉鎖の解除に伴い、ロングパーク内施設を利用する屋外スポーツの団体宿泊者が急増。 今後は、泉南スポーツコミッション協会が主催する事業と連動させて合宿誘致を行うなど、他事業との相乗効果を目指す。	A委員	有効	コロナ禍で停滞していたがようやく事業が動き始めた印象がある。しかし各成果は十分なものではなく、特にスポーツ合宿宿泊者数がR4は0人なのはどのような理由なのか？また、ブランド事業との連携が図られているのか大いに危惧される。	コロナ禍の影響もようやく沈静化したことにより、ロングパーク内の施設を利用する屋外スポーツ団体宿泊客が急増する傾向にある。ロングパークが有する環境面等の魅力を最大限に活用するとともに、関係機関との連携を深めることによって、更なる利用者の増加を継続してまいりたい。また、ブランド事業においては、多方面の媒体を活用することによって、ブランド化を推進してまいりたい。
				「SENNAN CAMP」実施による雇用者数	25人	5人	0人	3人	0人	2人	3人	◎	B	【生涯学習課】 コロナ禍の影響によって開催が危ぶまれたものの、トップアスリートを招聘し、2回のイベントを開催した。				
				スポーツポータルサイトアクセス数	-	0回	0回	12,000回	0回	14,000回	9,201回	△	C	【生涯学習課】 法人会員や協力団体と連携し、スポーツイベントや合宿誘致などの窓口としてのコンテンツの構築を支援し、評価指標の達成を目指す。	B委員	有効	コロナ禍、イベントに関しては、中止措置など影響を顕著に受けたものと考え。今後に期待したい。	
				スポーツイベント参加者数	2,121人	2,500人	1,158人	2,900人	471人	3,100人	924人	▼	D	【生涯学習課】 コロナ禍によりイベント自体の中止などがあったため実績値が成果指標を下回った。泉南スポーツコミッション協会などと連携し、スポーツイベントの実施回数を増やし、評価指標の達成を目指す。 【政策推進課】 いきいき健康教室 令和4年度は「市民いきいき健康教室」を4回開催。				

令和4年度 デジタル田園国家構想交付金事業に係る効果検証
(KIX泉州ツーリズムビューロー事業)

(各交付金対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

⑩【達成度評価】欄(事業担当課記載)
「R4年度のKPI値」⑩に対しての「R4年度実績」⑩の達成率を下記により記載
◎=指標値を達成
○=指標値の約7割以上達成
△=指標値の約5割以上達成
▽=指標値を達成していない

⑪【総合評価】欄(事業担当課記載)
A:計画を上回る取組みや事業展開ができた
B:計画どおり実施できた
C:一部計画どおり実施できなかった
D:計画通り実施できなかった

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑						
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	KPI (H30年度)	H30年度実績	KPI (R元年度) (H31年度)	R元年度実績 (H31年度)	KPI (R2年度)	R2年度実績	KPI (R3年度)	R3年度実績	KPI (R4年度)	R4年度実績	達成度評価	R4までの総合評価	成果分析・今後の展望 (事業担当課記載)	外部有識者	総合戦略のKPI達成に・有効・有効でない	外部有識者(学識者)からの意見	外部委員からの意見を踏まえた今後の展開等市の考え方				
3	KIX泉州ツーリズムビューロー事業	【P16~18: 1-①-2】 KIX泉州ツーリズムビューロー事業	プロモーション戦略課 (産業観光課)	泉州地域の訪日旅行者数		82 万人	38 万人	36 万人	195 万人	41 万人	△392 万人	47 万人	— 万人	55 万人	23 万人	▼	D	ここまでコロナ禍による訪日外国人の入国規制の影響を大きく受けたが、アフターコロナ期への移行を見据え、関西万博などを観光促進や地域活性化へ寄与する大きな契機と捉え、ニューノーマルに即した新しいスタイルの事業展開を図る。	A委員	有効	各事業自体は有効であると考えられるが、コロナ禍とは言い結果は十分なものではない。今年度は全国的にインバウンドが復調しているので大幅な改善が見られると思われるが、国際空港がある地域としては地理的メリットを活かしているとは言えない。	関西空港から大阪市方面に向く人流を泉南市方面に付けることが大きな課題であるため、引き続き誘客促進につながる様々な仕掛けを実施する。ポストコロナの中、再び活気を呈するインバウンド誘客の獲得のため、関空所在地としてのメリットを活かした取り組みを行う。現在、市内では最も認知度が高く誘客の最重要スポットである「SENNAN LONG PARK」をさらに活用することで、関空インアウトのインバウンド訪日客の獲得を目指す。				
				泉州地域の来訪者満足度 (訪日旅行者)		0.5 ポイント	1.0 ポイント	0.3 ポイント	0.0 ポイント	0.3 ポイント	0.0 ポイント	0.3 ポイント	1.0 ポイント	0.4 ポイント	1.2 ポイント	◎	B									
				泉州地域の延べ宿泊者数(訪日旅行者)		36 万人	69 万人	15 万人	64 万人	18 万人	△134 万人	20 万人	— 万人	23 万人	集計中 万人	-	C						B委員	有効	分析されているとおり、万博を近々のきっかけと捉え、さまざまな施策が展開されることに期待したい。また、その際、今一度、泉南市のどのような魅力をどのように伝え、見せるのか整理していただきたい。	ポストコロナを迎え、インバウンド訪日客が復活している現状に即し、これまで以上に大阪関西万博に向けて、インバウンド訪日客の獲得に取り組んでいかなければならないと考えている。現在、関西圏の他自治体との観光連携において、万博を視野に入れ、インバウンドをメインターゲットとした取り組みについて検討している。それらを具体的な事業に落とし込むなかで、泉南市の自然や風土、民俗、産物といった、泉南市にしかないものを磨き上げ、プロモーションを展開していく。
				泉州地域の旅行消費額(訪日旅行者)		263 億円	1,278 億円	115 億円	△507 億円	133 億円	△1,281 億円	151 億円	— 億円	175 億円	110 億円	△	C									

令和4年度 デジタル田園国家構想事業に係る効果検証

(誘客連携第1弾事業)

観光誘客連携による地域活性化事業

(各交付金対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

⑬【達成度評価】欄(事業担当課記載)
「R4年度のKPI値」⑪に対しての「R4年度の実績」⑫達成度評価を下記により記載
◎=指標値を達成
○=指標値の約7割以上達成
△=指標値の約5割以上達成
▼=指標値を達成していない

⑭【総合評価】欄(事業担当課記載)
A:計画を上回る取組みや事業展開ができた
B:計画どおり実施できた
C:一部計画どおり実施できなかった
D:計画通り実施できなかった

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		⑰	
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	KPI (R2年度)	R2年度実績	KPI (R3年度)	R3年度実績	KPI (R4年度)	R4年度実績	達成度評価	R4までの総合評価	成果分析・今後の展望 (事業担当課記載)	外部有識者	総合戦略のKPI達成に・有効・有効でない	外部有識者(学識者)からの意見	外部委員からの意見を踏まえた今後の展開等市の考え方
4	観光誘客連携による地域活性化事業	【P16~18:①-1-3】 観光誘客連携による地域活性化事業	○連携各都市の観光誘客事業プロモーション戦略課連携戦略課生涯学習課青少年センター(産業観光課)(政策推進課)	プラットフォーム登録旅行者数	0人	43,200人	10,656人	86,400人	34,442人	129,600人	54,539人	▼	C	目標値を達成することが出来なかった。今後も魅力発信を継続し、関係人口の増加に取り組んでいく必要がある。	A委員	有効	登録旅行者はR3より増えているがKPIの半分にも満たない。KPIが高すぎたとも言えるが、コロナ前よりも旅行者が増えている地域もある中で、十分な成果とは言えない。件数や指数はR3よりは増えているがR2よりは減少している。こちらは元のKPIが低すぎるとも言える。	KPIは連携各都市での指標を合わせたものであり、本市の状況について分析すると、他地域に比べコロナ禍の影響からの脱却が遅れている感は否めない。しかしながら市内誘客の最重要スポットである泉南ロングパークの強みを活かした誘客事業を続け、また同時に、市内内陸部にも数多く展開する市内事業者の個店をはじめとする魅力あるスポットにも足を伸ばしてもらえようような取り組みを検討していく。さらに泉南市だけに留まらない広域での連携も活用し、国内観光客及び(主に欧米人をターゲットとした)外国人観光客の誘客にも努めていきたい。
			○広域連携ブランド化・収益事業構築事業埋蔵文化財センター	協力事業者拠点件数	0人	12件	156件	12件	120件	12件	126件	◎	A	目標値を着実に達成しており、市内事業者に取り組みの目的やメリットは理解されたものと考えられる。今後も事業者との連携を継続させるための仕掛けづくりが誘客には必須である。				
			○ICTを活用した観光誘客連携事業プロモーション戦略課(産業観光課)	旅行者満足度指数	20%	3%	30%	3%	8%	4%	10%	◎	A	イベント情報のメルマガ発信や賞品獲得やサービス等の提供を受けることができるキャンペーンが功を奏し、旅行者の満足度が高かった。今後も有形無形には関わらず、様々なサービスやメリットを提供する必要がある。	B委員	有効	事業者自身の意思で事業展開がなされることが観光振興の展開には不可欠である。複数の事業者が繋がって観光事業を実施する際、市が補助するようなメニューを検討されてはどうか。	事業者が自発的かつ積極的に自身の事業展開を目的とし、市内観光事業に参加することが一番の理想である。一方で、市内観光事業への参加が市内事業者への直接的な(長期的あるいは短期的な)メリットに成りえていないことが課題である。今後は泉南ロングパークを中心とするイベントへの出展機会の提供を増やすことにより、市内事業者へ観光消費が還元される仕組み作りを行ってきたい。

令和4年度 デジタル田園国家構想交付金事業に係る効果検証
 (誘客連携第2弾事業)
 広域市町村連携によるデジタルシティプロモーション事業
 (各交付金対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

⑩【達成度評価】欄(事業担当課記載)
 「R4年度のKPI値」⑨に対しての「R4年度の実績」⑩達成度評価を下記により記載
 ◎=指標値を達成
 ○=指標値の約7割以上達成
 △=指標値の約5割以上達成
 ▼=指標値を達成していない

⑭【総合評価】欄(事業担当課記載)
 A:計画を上回る取組みや事業展開ができた
 B:計画どおり実施できた
 C:一部計画どおり実施できなかった
 D:計画通り実施できなかった

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	KPI (R3年度)	R3年度実績	KPI (R4年度)	R4年度実績	達成度評価	R4までの総合評価	成果分析・今後の展望 (事業担当課記載)	外部有識者	総合戦略のKPI達成に・有効・有効でない	外部有識者(学識者)からの意見	外部委員からの意見を踏まえた今後の展開等市の考え方
5	広域市町村連携によるデジタルシティプロモーション事業	【P16~18:①-1-3】 観光誘客連携による地域活性化事業	○SNS活用のためのポータルプラットフォーム整備事業プロモーション戦略課 (産業観光課)	観光入込数	7,740,000 人	人	2,327,399 人	5,033,000 人	5,056,138	◎	A	新型コロナウイルスによる影響を大きく受けながらも、堅調な増加をみせ、目標値を達成することができた。SNS等による情報発信に加え、人流再開のトレンドが相乗効果があったものと考えられる。	A委員	有効	youtubeやwebサイト等、さまざまな情報発信を積極的に行なっていることは評価される。SENNAN LONG PARKやイオン以外の投稿やメディア掲載は増えているのか？市内全域への波及効果は図られているのか？	これまでもyoutube、ウェブサイト、SNSへは機会あるごとに情報発信を行っている。内容に関しては否めないが、市内各所で開催されるイベント情報や歳時記など、誘客効果が期待される情報の掲載を行っている。こうした情報発信に継続することによってイベント情報の周知をはじめとする、観光誘客事業への効果は得られているものと考えている。今後も市内各所に関する情報発信を積極的に行うことで、市内全域への波及効果を高めていきたい。事業の内容の充実、磨き上げと同時に、メディアを活用したより効果的なプロモーションを展開していきたい。
			○広域市町村連携シティプロモーション事業プロモーション戦略課 連携戦略課 (産業観光課) (政策推進課)	ポータルプラットフォームへの投稿数	0 件	810 件	2,138 件	1,080 件	6,108	◎	A	本事業で構築したポータルプラットフォームへの誘導として、産品を紹介するプロモーション動画を作成するなどしたことが功を奏し、目標値を達成した。発信するチャンネルに関わりなく、今後も魅力的な産品の発掘に努める必要がある。				
			○各市町村の連携ブランド強化・収益構築事業プロモーション戦略課 (産業観光課)	メディア掲載数	0 件	324 件	357 件	432 件	682	◎	A	メディアの種類を問わず、多く掲載機会を得て目標値を達成した。本事業の取り組みを多方面に発信する機会を多く得ることができた。今後もプロモーションのため、広く情報発信の機会を求め、メディアとの連携を深めていく必要がある。				

令和4年度 デジタル田園国家構想交付金事業に係る効果検証

(誘客連携第3弾事業)

広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業

(各交付金対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

⑨【達成度評価】欄(事業担当課記載)
「R4年度のKPI値」⑩に対しての「R4年度の実績」⑧
達成度評価を下記により記載
◎＝指標値を達成
○＝指標値の約7割以上達成
△＝指標値の約5割以上達成
▽＝指標値を達成していない

⑩【総合評価】欄(事業担当課記載)
A:計画を上回る取組みや事業展開ができた
B:計画どおり実施できた
C:一部計画どおり実施できなかった
D:計画通り実施できなかった

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		⑬	
No	交付対象事業名	総合戦略上の関係事業名	担当課	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	KPI (R4年度)	R4年度実績	達成度評価	R4までの総合評価	成果分析・今後の展望 (事業担当課記載)	外部有識者	総合戦略のKPI達成に・有効・有効でない	外部有識者(学識者)からの意見	外部委員からの意見を踏まえた今後の展開等市の考え方
6	広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業	【P16～18:①-1-3】 観光誘客連携による地域活性化事業	〇市町村連携バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業 プロモーション戦略課 (産業観光課)	観光入込数	7,520,000 人	2,300,000 人	3,380,912 人	◎	A	新型コロナによる影響を大きく受けながらも、堅調な増加をみせ、目標値を達成することができた。Web上に構築されたバーチャルコンパクトシティを周知のきっかけとなったことに加え、人流再開のトレンドが相乗効果としてあったものと考えられる。	A委員	有効	KPIは達成しており有効なもの判断される。入込数は泉南市だけのものなのか他の参加地域も含めたものなのか？仮想市民登録数や魅力度は他の参加地域と比べて十分なものであるのか？	KPIは広域連携事業全体のものである。仮想市民登録数や魅力度もそれぞれバーチャルコンパクトシティ全体を通してのものとなる。それぞれ目標値は達成しているが、さらに魅力的なコンテンツを追加、拡充することで、関係人口の増加に努めていく必要がある。
			〇市町村の観光交流促進強化連携事業 プロモーション戦略課 (産業観光課)	仮想市民登録数	0 件	1,820 件	1,917 件	◎	A	Web上で展開されるバーチャルコンパクトシティを介する関係人口拡大には、魅力的かつ的確な情報との連携が不可欠である。目標値を堅調に上回ったことで、取り組みの目的や現状の連携は理解されているものと考えられる。	B委員	有効		
			〇市町村の関係人口の創出拡大事業 プロモーション戦略課 (産業観光課)	地方志向者の魅力度数	30 %	3 %	21 %	◎	A	地方志向者の魅力度は、バーチャルコンパクトシティ登録者の実地滞在によって得られた経験に基づくものである。目標値を大きく上回っており、本事業の方向性が妥当であることが評価されたものと考えられる。				